



Max Weber
Stiftung

.....

ドイツ日本研究所（DIJ）は東京に拠点を置くドイツの研究機関です。マックス・ウェーバー財団の研究所として、ドイツ連邦研究・技術・宇宙省の資金によって運営されています。

2026 年 4 月 1 日付 事務職員 1～2 名募集

フルタイム（週 40 時間）

当初は 2 年間の有期雇用ですが、無期雇用への転換も可能です。勤務地は東京で、募集人数は 1～2 名です。国際的学术交流を支え、多岐にわたる業務を通し、日々新しい挑戦ができる職場環境です。

主な業務内容

- イベントの企画・運営サポート（イベントマネジメント）
- 日本企業およびパートナーへの発注・調達手続きのサポート
- 現地採用スタッフの人事・労務関連業務の補助
- 日本の銀行手続きに関するサポート
- 日本の官公庁、企業、協力機関との連絡調整
- ビザ関連手続きのサポート
- 設備・備品の管理および台帳管理
- 来客対応および秘書業務（受付、電話対応、郵便物管理など）
- 研究所の運営を支える一般事務

注意事項：

業務の分担は、応募者の資格や経験および最終的な採用状況に応じて決定し、具体的な担当業務は、提出された応募書類を踏まえた上で決定されます。上記の業務内容を網羅的に担当するわけではありませんので、応募の際は**ご希望の担当分野を明記**してください。

必須条件

- 日本語を母語とする方
- ドイツ語および英語に関して非常に優れた能力を有する方
- 一般的なオフィスソフトを問題なく使用できる方

できれば尚可

- 秘書業務・事務業務またはイベントマネジメントの経験
- 学術関連機関での業務経験
- 高い主体性、優れたチームワーク能力、相手に配慮した対応力
- 多文化の職場環境で働く意欲
- （事前調整の上）夕方以降のイベントに柔軟に対応いただける方

条件・概要

- フラットな組織構造と、互いを尊重し合う国際的で協力的な職場環境
- 在日ドイツ大使館の現地採用職員の給与規定に基づく給与体系
- 年間 24 日の年次有給休暇
- 試用期間終了後、一定範囲での在宅勤務が可能
- 定期的な研修・スキル向上の機会
- 都心部に位置し、交通アクセスに優れた職場

マックス・ウェーバー財団は、家庭と仕事の両立を重視する、家族に優しい雇用者です。この件に関するご質問は、gleichstellung@diytokyo.org までお問い合わせください。法令に基づき、同等の資格（適性・能力・専門実績）がある場合、重度障害を持つ応募者を優先的に採用します。

日本国籍を有しない方は就労ビザが必要です。就労ビザの申請については、DIJ がサポートします。税務上の理由から、応募時点で日本に居住している必要があります。

選考面接は **2026 年 1 月 19 日および 20 日** に実施予定で、面接はドイツ語で行います。応募書類（履歴書、志望動機、資格証明書等）は一つの PDF ファイルにまとめて、ドイツ語で **2026 年 1 月 8 日**までに所長のフ란ツ・ヴァルデンベルガー宛に、[応募プラットフォーム](#)からご提出ください。

求人内容や職務内容に関するご質問は、事務部長の **エリサベト・ケラー** (koeller@diytokyo.org) までお問い合わせください。